

現在職工三四六名内男三五一女九五一才使用レ機械及
 釀造三部ニ分ケルル釀造ヲ為シツ、アルカ機械部
 部ニ属ス職工ニ多少技術ヲ要スルニ及ビ釀造部ハ只
 行方ニ要スル外無事ノ技術ヲ必要トスル關係ナ
 シテ待遊ニ付 自カノ力ニテ生ラセシム
 此ノ職工部ニ於テ工側ニ於テ設備ニ此莫ニ付 公平ニ
 ハ多ク今自ラ至リシテ遠段関東地方ノ以テ害ニ依リ全
 社頓減工場 全壞ニ付、職工之場ニ於テ生產品増加
 小ノ事ニ至リテ予測ニ此核合ニ付、折衝条件ノ改善ニ時
 一職工部ニ此意ヲ渡部善五、函為、私カニ本年十月厄崎合
 一合ニ入リテ職工部ニ會員勸誘ノ努力ヲアリ 既ニ約甲加入
 一此ノ意ヲ渡部加三ニシテ模様ナリ、或ハ何等カノ要求提出ニ達
 一占ニ付、職工部ニ注意中
 一此ノ意ヲ渡部加三ニシテ模様ナリ、或ハ何等カノ要求提出ニ達
 一此ノ意ヲ渡部加三ニシテ模様ナリ、或ハ何等カノ要求提出ニ達



葛原工場労働者議入

任官者 葛原商會主 葛原三郎 (名は違ふがよし)

所在地 品川

職工数 約二十名

労働条件 あり

開始期 大正十二年十月一日

解散期 大正十二年十月一日

事業種類 碎氷、製氷其他 冷房、冷房

原因

同工場は資本約百五十万円(九月一日の震災に工場焼失、これ以後
 空閑難に陥リ、九月中は休業してこれを女工が到底つらまじ
 維持出来ないと、遂に十月一日、労働者側は職工を對し、其の
 二〇を行へ従来職工仕事に協賛して並に、労働者側は準備工に準ず

12.30.22
 800 年